

月刊 ゆがの通信

2023年11月号

発行：ゆがの薬局

健康診断いかがでしたか？ 腎臓機能を維持する早めの取り組みが大切

慢性腎臓病（CKD）とは

近年、健康を維持するために健康診断の腎臓の数値を気にする方が増えています。まず、クレアチニンという数値ですが男性 1.0mg/dl 以下、女性 0.8mg/dl 以下が正常値で、これを上回ってしまえば腎臓が老廃物を除去して尿を作る機能が低下していることを意味しています。また、このクレアチニン値から算出されるのがe-GFRでの 0mg/1.73m^2 を下回りますと腎臓の働きが正常な状態の60%未満であることを示しています。

尿検査で「尿にタンパク」が出ている場合、本来血液に含まれるタンパクは体に必要な物質であり、腎臓の働きが正常であれば血液から除去されずに戻されます。ところが正常に働かなくなると尿に漏れてきてしまいます。これを「タンパク尿」といいます。

もう一つ、糸球体腎炎を起しているとう尿検査では目に見えないわずかな血液が含まれる「尿潜血」が出やすくなります。

必ず血液検査と尿検査の両方をけるようにしましょう。どちらか一方だけに異常がある場合にも慢性腎臓病（CKD）が起っていることがあるからです。

このCKDとは腎臓の障害が慢性的に続いている状態で現在国内に一三〇〇万人の患者がいると言われています。高血圧、糖尿病、脂質異常症や加齢などが原因となって進行しますが、脳梗塞、心筋梗塞、認知症などの発症リスクが大幅に上がることがあるので注意が必要です。

「八味腎気丸」で腎を補う

そこで今、数千年も前から「腎」を重視している漢方医学が注目されてきています。そもそも「腎」は両親からもらった「先天の精」と誕生後の飲食物から吸収して作り出した「後天の精」と呼ばれる物質を貯蔵していますが、「腎精」は加齢や過労などで失われていきます。もともと貯蔵していたものを少しずつ消費していきますが増えることはありません。しかし、「腎」の働きをアシストして機能改善することが出来ます。これが「補腎」という考え方です。その代表が「八味腎気丸」で、ジオウ・サンシユ・サンヤク・タクシャ・ブクリヨウ・ボタンピ・ケイヒ・ホウブシの生薬から成りたっていて、排尿トラブル、かすみ目・老眼、下肢や腰の痛み、耳鳴りなど「腎」の衰えからくる諸症状に効果があり当然CKDの予防にも役立ちます。当局では東洋薬行（とうようやくこう）とい

うメーカーの「八味腎気丸」をおすすめしております。その理由として一つは品質の良さです。良い生薬は昔から成長に適した土地があるとされ、そこで採取された生薬を「地道薬材（ちどうやくざい）」と呼びます。東洋薬行は地道薬材の考え方のもと厳格な選別を行い品質試験にクリアしたものを使用しています。

もう一つは丁寧な仕上げです。例えばホウブシは塩水につけて加熱する弱毒処理を通常二回程度のところ八回施して仕上げています。また、生薬とハチミツだけで丸めるといふ昔ながらの製法で丁寧に仕上げられています。

さあ東洋薬行の「八味腎気丸」で「腎精」を補い、CKDを予防していきましょう。

・株式会社東洋薬行

「八味腎気丸」（第二類医薬品）

八一〇粒入（四十五日分）

七、〇〇〇円＋税



東洋薬行「八味腎気丸」についてのご相談は店頭だけでなくお電話でも受け付けています。

お気軽にご相談ください。

「実は多くの方が悩んでる尿漏れ」

漢方のチカラで根本から改善！

星火安固丹（セイカアソコタン）でお悩みを解消！ 健康な毎日を送りましょう



(C) イスクラ産業株式会社

1ヶ月分 7000円（税別）

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>